

【やままゆ連・手作りカフェ】

ムギ藁の馬とお散歩

5月2日(土) 10:00~12:00

平和台集会所及び緑地

五月晴れ、遠く丹沢越しに富士山がくっきりと見え、鯉のぼりを出している家もある長閑な住宅街を平和台集会場に私は向かいました。

4月や5月はたいていお散歩ですが、今回は「ムギ藁の馬」初体験の人が私も含めて数人いたので、先ず「ムギ藁の馬」作り。それから手作りカフェ、集会場をいつもよりも早めに出てお散歩、西緑地向かいました。緑地でクサイチゴが、ジャムに出来るほど沢山採れたと散歩を途中で切り上げた私にお知らせいただきました。

さて、「ムギ藁の馬」作り、ムギ藁は乾燥していると折れてしまうので予め水で十分に湿らせておく必要があります。今回、湿らせたムギ藁を使って作る人、曲がり易くメモも出来て手順の理解がし易い紙を使って作る人、私は紙で作りました。

材料は、紙もムギ藁のサイズとほぼ同じ、少し厚みのある幅5mm長さ30cmほど5本を準備する。最初に、この細長い5本の紙の表ての面の両端に1から5まで番号を書いておくと理解し易いと先月作られた人から、作品を目の前にして教えてもらいました。織ってゆく手順、1と2を十文字にして2を1を中心に3本が並ぶように左右90度下方向に折る。3を1と2に織り込んだ後に3を下方向に90度折る...見本を参考に織り(折り)進む。

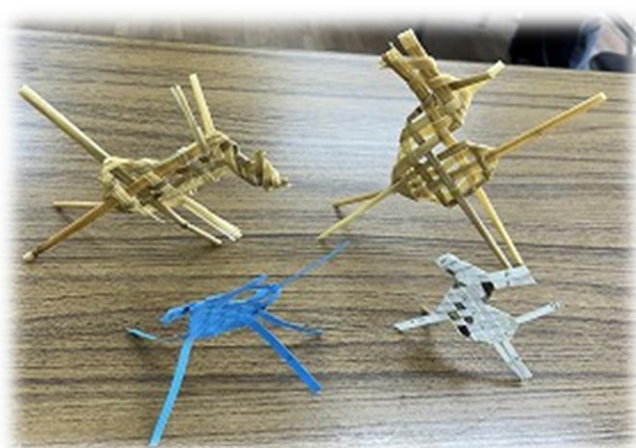
出来上がりは、1が尻尾と口元、2と3のメモが裏面にきて前足2本、4と5が後足2本、3と5のメモが裏面にきて耳2つ。長いところをハサミで切って形を整えると可愛い仔馬の形になりました。見本を見ながら作ると簡単!慣れればメモも不用となって手早く出来るようになるはず、次はムギ藁で作りたいくなりました。

手作りカフェのブラマンジェは一つづつ透明プラスチック容器に入れて持ってきてくださいました。プラスチックは石油由来のナフサが必要。原油産出の多い中東地域が2ヶ月前から政情いっそう不安定となり、これから日本の石油の輸入はどうなるのかしら、の話題もありました。

【やままゆ連・手作りカフェ】

ブラマンジェ、どら焼き など

(斎藤光代)



飛び跳ねる馬たち